

壱岐市エンゲージメントパートナー制度

制度趣旨

壱岐市へのエンゲージメントを持った企業等とパートナーシップを構築し、壱岐市を通して、地方や日本、そして世界の持続可能な未来をともに創造する

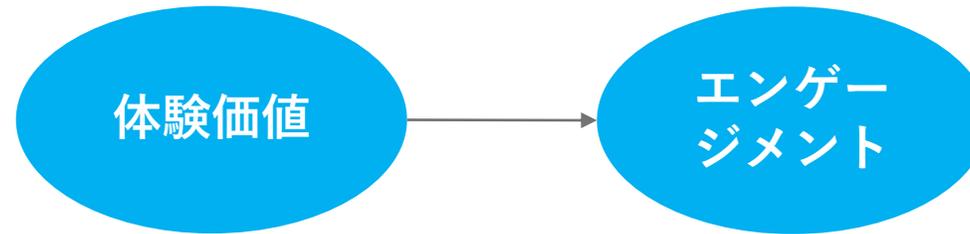
支援内容

エンゲージメントパートナーの壱岐市でのイノベーションを全力でサポート（壱岐みらい創りサイトが人脈・情報・場所で支援）

加入の流れ

市長等との協議を行い、お互いのエンゲージメントを確認後、必要に応じて調印式を実施

壱岐市への共感や愛着を感じ、
壱岐市に対して主体的な貢献を行おうとする企業・団体等
共創人口＝エンゲージメントパートナー



■ **パートナーと壱岐市との関係性**

- パートナーと壱岐市の双方がより良くなるために貢献し合う状態
- 一緒により良い状態を考え、一緒にその実現を目指していく関係
- パートナーと壱岐市の中に信頼関係が構築
- パートナーと壱岐市の成長の方向性が連動
- パートナーと壱岐市で持続的な関係性を築いていく

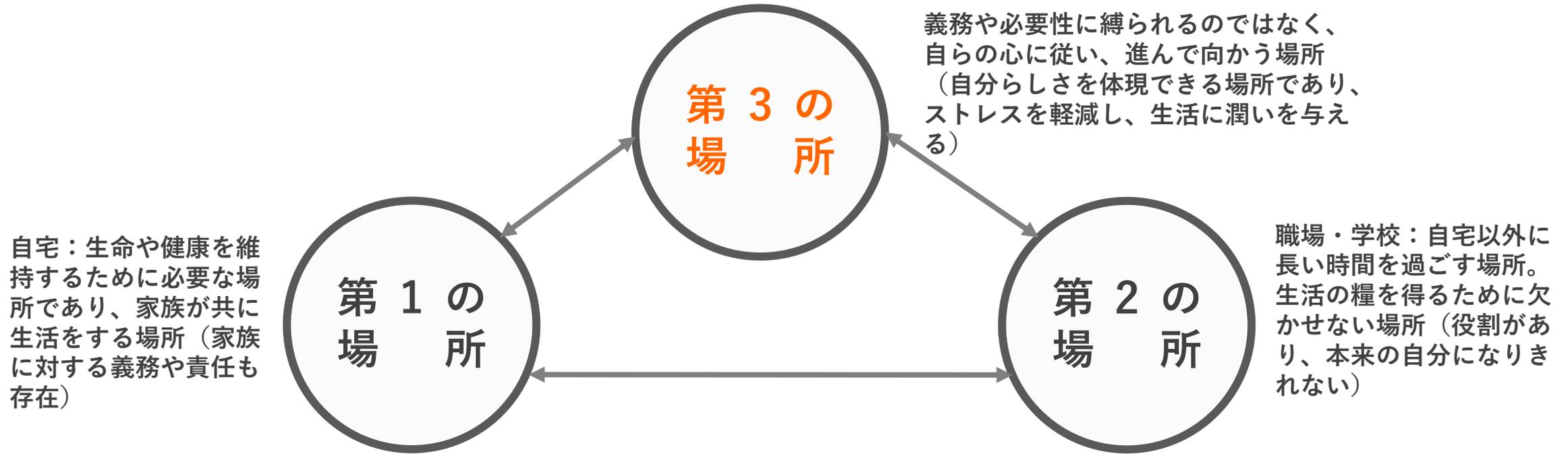
■ **パートナーの主体性の尊重**

- パートナーの感情的なコミットメント
- パートナーのモチベーションが高く保たれている
- 壱岐市に対して自らの力を発揮しようとする自発的な貢献意欲
- 壱岐市のためになることにやりがいを感じ、主体的に価値を生み出そうとする気持ち

壱岐市でワーケーション（ワーク＋イノベーション）を実施することで、
社員研修になるとともに、社員の企業へのエンゲージメントも向上

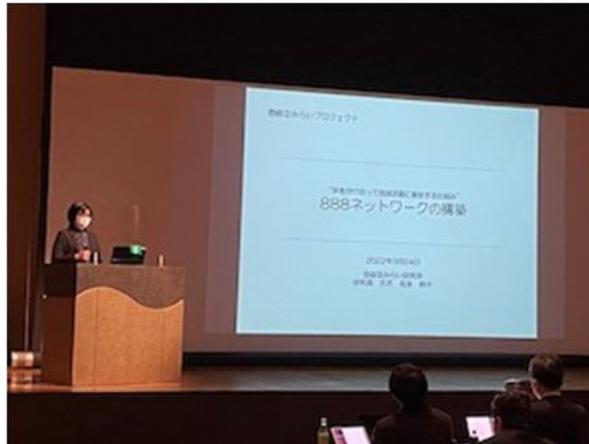


壱岐市がエンゲージメントパートナーのサードプレイスとなることで、
社員のwell-beingが向上するだけでなく、企業業績の向上にもつながる



- 社会や組織の細分化により、部門最適、分野最適、個人最適が進み、自分の生き方や仕事が社会とどう関わっているのか、全体像や直接の手触りがわからない、また相互理解が得にくい環境で生活
- ときには家族や職場での立場からの解放が必要
- **潜在力を引き出し、成長力の高い人材を育むサードプレイス**
- 地域に入ることによって、部門最適や無意識の偏見を排し、社会システム全体や自らが果たすべき役割を理解する
- 長年引き継がれてきた「本質（人間にとって本当に必要なモノ・コト）」に触れることで、自分が生かされていることや自分の活かし方にも気付く

パートナーには「壱岐なみらい研究所」に参加してもらい、
壱岐市の課題や挑戦をリアルに知ってもらうことで、イノベーションに寄与する
(「鳥の目」・「虫の目」・「魚の目」・「蝙蝠の目」の獲得)
また壱岐市職員（研究員）との信頼関係も構築



お互いの「未来のあるべき姿の実現」に向けて、
一緒により良い状態を考え、一緒にその実現を目指していく中で、
信頼関係が段階的に醸成され、持続的な関係性へとつながっていく

